

小中一貫教育

名張小学校、比奈知小学校、梅が丘小学校、名張中学校では『自分で考えて行動できる子』『自他を大切にできる子』を共通した目指す子ども像とし、義務教育9年間で視野に入れた系統的、継続的な指導を行っています。

名張中学校区小中一貫教育
グランドデザイン

《小中一貫教育目標》
『地域とともに
豊かな人間力を育む
小中一貫教育』

《9年間を通しためざす児童・生徒像》
『自分で考えて行動できる子』『自他を大切にできる子』

《基本方針》

- ・9年間で視野に入れた系統的、連続的な指導
- ・めざす子ども像を明確にした、発達段階に応じた「生きる力」の育成
- ・異学年交流を通した自尊感情、豊かな人間性、社会性の育成

まなび：
夢を実現させるために、自ら主体的に学ぼうとする子をめざします。
【学力向上に向けた取組】

- ★学習規律の徹底
- ★自学自習の習慣づくり
- ★めあてとふり返りのある授業づくり
- ★5教科で育てたい力を明確にしたカリキュラムづくり

こころ：
人とのつながりを大切にし、互いを認め合い、共に成長できる子をめざします。
【豊かな心の育成に向けた取組】

- ★人権・同和教育の推進
- ★あいさつ運動の推進
- ★前心地のよい居場所づくり

名張中学校
梅が丘小学校
比奈知小学校

学校教育目標

	前期			中期			後期		
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
まなびのプラン	名中校区「学びの心得」(整理整頓・授業のルール・授業のはじまりと終わり)の活用								
	各校における「家庭学習の手引き」等の活用(自学自習の習慣づくり)								
	宿題や読書を進んでする			宿題や読書・自学自習を進んでする			宿題や読書、自学自習に自ら創意工夫して取り組む		
	時間を守る								
	チャイムの合図で行動する		時計を見て行動する		5分前行動をする		1日や1週間の予定など見通しを持って行動する		
コミュニケーション	人の話を聞き、自分の考えを話す(コミュニケーション能力の確立)								
	相手の顔を見て聞き丁寧な言葉ではっきりと話す(相手との意思疎通のルールの確立)			話す人の気持ちを考えて聞き自信をもって自分の考えを話す(自己と他者の尊重の考え方の徹底)			相手の考えを尊重して聞き自分の意見を相手に理解できるように話す(相互理解から自分も含めた人権尊重の考え方へ)		
	適切なあいさつや言葉遣いをする								
	大きな声であいさつや返事をする			相手を意識したあいさつや言葉遣いをする			その場に応じたあいさつや言葉遣いをする		
	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいあいさつや返事の仕方を理解する ・あいさつや返事をするときは大きな声で元気よく行う 			<ul style="list-style-type: none"> ・自分から進んであいさつをする ・相手の方を向いてあいさつをする ・敬語を理解し、使おうとする 			<ul style="list-style-type: none"> ・その場の状況や相手の状態を考えたあいさつをする ・相手が気持ちいいと感じることができるあいさつをする ・敬語を適切に使い、相手に伝わるような言葉づかいをする 		
名中校区小中一貫教育 「アクション・プラン」									

まなびのプラン

名中校区における
『小中一貫教育』

子どもの発達段階に応じた9年間を見通した**系統性・連続性のある指導**

「生きる力」の柱となる

こころ

『豊かな心』

人とのつながりを大切にし、互いを認め合う

まなび

『確かな学力』

夢を実現するために主体的に学ぶ



中学校所属教員による「出前授業」や「外国語の授業」の実施

各教科で「育てたい力」

各教科で育てたい力

国語 社会

①自分の考えを的確に相手に伝え、相手の考えを正しく聞き取る力。
②書かれていること(内容)を正しく読み取る力。
③自分の考えを明確にし、文章の構成や表現を工夫して書く力。
④音読感覚を養い、適切に活用して自分の考えに生かす力。

算数・数学

①日本の事象を数理的にとらえ、見通しを持ち、筋道を立てて考察する力。
②既習事項を基に、自分の考えや表現を明らかにし、図や絵、数学的な表現を用いて説明、表現する力。
③算数の楽しさや数学のよさを実感し、それを日常生活に活かそうとする力。

理科

①いろいろな身の回りの自然や現象に「なぜ？」という疑問や興味・関心を持ち、観察・実験の活動を通して、自然現象について考える能力。
②社会的内部に関する関心・意欲を高め、自分は何ができるかを主体的に考え、問題解決しようとする力。

外国語・英語

①異文化を理解するとともに、自国の文化への理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする力。
②基礎的な語彙と文法を身に付け、伝えたい内容を基礎的な形で表すことができる力。
③自分を見つめ、一人のとりが必要とする姿勢で向上させるための、学びの機会をよとする力。

各中学校区「学びの心得」の活用

人権教育

キャリア教育

「名張」を知る → 体験・観察・調査 → 地域への思いや学習を深める → 実践 → 「名張」を伝える。
ふるさと学習「なびり学」

社会の、
担い手つくり。

義務教育9年間を見据え、
教科で「身につけたい力」の
共有化

学習内容『系統図』(算数・数学)

教科の系統性を考えた授業

系統性の高い教科だけに、前学年の知識の習得が重要となる。

9年間を見据えて、指導する必要

各中学校区
「小中一貫教育カリキュラム」

各中学校区 一貫基本カリキュラム(算数・数学科)

教科・学習活動の特徴

- 系統性の高い教科ゆえ、前学年の基礎的、基本的な知識・技能の習得が重要となる。
- 具体物をつかった思考から論理的、抽象的な思考へシフトする必要が求められる。
- 算数、数、式、図、表、グラフなど高度な表現手段を用いることができるようになる。
- 学んだことが実際の生活に活かされていることの実感をもたなければならぬ。

算数・数学で身につけたい力

①日本の事象を数理的にとらえ、見通しをもたえて筋道を立てて考察する力。
②既習事項を基に、自分の考えや表現を明らかにし、図や絵、数学的な表現を用いて説明・表現する力。
③算数の楽しさや数学のよさを実感し、それを日常生活に活かそうとする力。

前期【定着期】	中期【活用期】	後期【発展期】
小学校1・2・3・4年	小学校5・6年 中学校1年	中学校2・3年

○基礎・基本の理解、習得を促す。学校や家庭での学習を支援する。
○基礎が習得の基盤になっていることを実感させる。

○学習意欲を高め、自ら考え材料・表現する力を身につける。
○文字の活用性を高める。

○既習事項の活用を促す。
○数学を応用し、論理的に考えられることをめざし、算数的に考える実質・能力を育成する。

小学校課程



中学校課程



学びのルールの共有化

学習規律

学びのこころえ

学びのこころえ

1. 学びのこころえ

2. 学びのこころえ

3. 学びのこころえ

発達段階に応じて目指すべき姿を明確にして系統的に、継続的に・・・

すべての教室で、すべての教師で・・・

「はっぴようするときは、みんなにきこえるようにはなします」
(小学1・2年生)

発達段階に応じて・・・

「発表する時は相手のことを意識していねいに話そう」(中学生)

こころのプラン

あいさつ運動



自分から進んで、顔を見て・・・
相手に届くように・・・

発達段階に応じて目指すべき姿を明確にして系統的に・・・

小中合同「あいさつ運動」を定期的
に実施しています。



中学校への文化祭の参加



出前授業で
学習した歌
を合唱！

ふるさと学習

「なばり学」

名中学校区画 一貫基本カリキュラム（「なばり学」）

学習活動の特徴
・ 地域資源、人材を活用し、9年間を通して、ふるさとを題材とし、次世代を学習することで、それらを取り巻くこととする教育活動を通して「誇りの良い学び」につなげる。

ふるさと学習「なばり学」で身に付けたい力
・ ふるさと「名張」についての理解やふるさとを名張に誇りや愛着をもつ。
・ ふるさと「名張」の文化を引継ぎ、地域の課題も解決しようとする。

前期【定名期】 中期【活用期】 後期【発展期】
小学校1・2・3・4年 小学校5・6年 中学校1・2・3年

基礎段階やその発展においてあるべき生徒の姿、育てたい能力「等」

- 基礎段階や発展、発展段階、発展段階にふさわしく学ぶ。
- 基礎段階や発展、発展段階、発展段階にふさわしく学ぶ。
- 基礎段階や発展、発展段階、発展段階にふさわしく学ぶ。

	前期(定名期)				中期(活用期)			後期(発展期)	
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
自然			赤目十八滝	名張田とやま	名張田とやま				
歴史			名張のくらし		名張田とやま			名張にも戦争があった	
	名張が生ま	名張が生ま					名張田とやま	名張にも戦争があった	名張田とやま

学習内容『系統図』（ふるさと学習「なばり学」）



地域資源・人材を活用し、9年間を通して、ふるさとの自然や歴史、文化等を学習します。

ふるさと「名張」を理解し、誇りや愛着を持つ



将来の「担い手
づくり」へ

キャリア教育

義務教育を通じ、活動は、「キャリアパスポート」に綴ります。



9年間を見通して、特別活動を要として、教育活動全体を通して、「キャリア教育」を行います。

領域	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
人間関係・社会形成能力	かかわる力						他者を理解する力 相手の思いを受け止める力		
人や社会とつながる力 他者の良いところを知り、感謝し自分の役割を果たそうとする	友だちの良さを大切に気づき、仲良く遊び、助け合う		友達の良さを認め助けあう		友達の優しさを尊重しながら、自分らしさを発揮して発達する			相手のため、互いに支え合いながら取り組む	
他者の理解 コミュニケーション力	高いきつや温厚を、自分の思ったことと伝える		自分の意見や気持ちをわかりやすく伝え、協力して行動する		思いやりや気持ちを相手に伝達し、相手の立場を尊重して行動する			周りの人に感謝し、自分ができることに積極的に取り組む	
自己理解・自己管理能力	見つめる力						自分の長さに気づく力 自分を律する力・頑張る力		
自分を見つめ、高める力 自分の強さに気づき、自分らしさを発揮しようとする。自分の興味・関心に基づき、より良い選択をしようとする	自分の好きなことや得意なことを知り、お友達にわたりに感謝する		自分がないところを見つけることができる		自分の長所や得意なことを、自分らしさを発揮しようとする			自分の短所を克服し、長所を伸ばそうとする	
自己の理解 主体的行動力	得意な活動に取り組め、その大切さがわかる		得意な活動に積極的に参加し、仲間と協力して取り組むことができる		思いやりなどの価値観を理解し、異なる意見も理解しようとする			自分の能力や適性を知り、自分の力を発揮しようとする	
課題対応能力	えがく力						チャレンジし、やり遂げようとする力 課題を見つけ、解決する力		
自ら考え、行動する力 仕事をすすめるまでの様々な課題	わからないことや得意な人に積極的にたずねる		課題をたてる必要性に気づき、学習の計画を立てる		考え、自分だけが正しい理由を判断し、主体的に解決しようとする			自分なりの考えを持ち、計画を立てる	

「目指す姿」の明確化



小中合同研修



具体的行動計画『アクションプラン』

小学校と中学校の教職員合同研修
研修を通じて、「目指す児童生徒像」や具体的な取組の共有化を図り、取組をすすめます。